

文化財ニュース

第 1 号

発行 加古川市 教育委員会
 編集 加古川市文化財審議委員会
 加古川市加古川町寺家町39
 TEL ②0242 ②3477

神野町・八幡町の巻

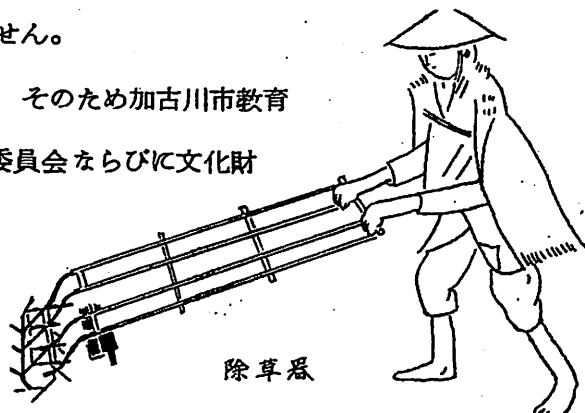
民俗資料蒐集保存

についてのお願い

時代の移り変りと共に生活様式もかわってき
 て、毎日の生活に使用する日常生活用具、農具
 類等昔から使われていたこれらの文化財的な民
 俗資料が、廃棄されたり焼却されたりして、だ
 んだん数少なくなっていることは、誠に淋しい
 ことです。

加古川市では今のところ博物館等の施設があ
 りませんが、近い将来にはこうした民俗資料な
 どを保存したり、展示をする施設の建設も計画
 しており、その時になってこれらの貴重な民俗
 資料が無くなってしまっていては意義がありま
 せん。

そのため加古川市教育
 委員会ならびに文化財



審議委員会では、この際皆様方のご家庭で、昔
 から使われていた道具類（例えば、綿くり機、
 農業用のクワ、スキ等その他日常生活用具）
 で、もうご使用にならないものがありましたら

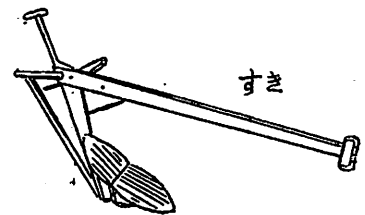


ご寄贈いただきたく存じ
 ますので、どうぞよろし
 くお願い申し上げます。

なお、保存場所等の関係もあり、早急にこち
 らへ引き取ることができないものもあろうと思
 いますので、皆様のお家のどこかにしばらく保
 管していただき、目録だけでも調整しておきた
 いと思います。

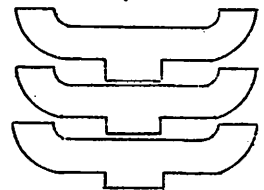
品物は後日適当な時期に、引き取る機会をつ
 くらせていただきます。

皆様の絶大な
 ご協力を切にお
 願い申し上げま
 す。



文化財愛護シンボルマークが
 制定されました。

皆さんと共に、
 文化財を大事にし
 ましょう。



神野町の文化財

★埋蔵文化財

(古墳・廃寺跡)★

神野町には非常にたくさんの古墳があり、その他廃寺跡、ブレ縄文(約15,000年前の石器)出土地があります。

古墳の代表的なものとしては、行者塚、人塚、尼塚(いずれも山手中学校の北、県営団地の南)二塚古墳(二塚神社裏)、北大塚(西之山)があり、人塚の東に面して西条廃寺跡の遺跡、石守地内の北斜面に石守廃寺跡、西条城山南面よりブレ縄文が出土しております。この他に県営団地造成地に50数基の古墳がありましたが、これはすでに発掘調査を完了しております。この調査の際には完全な若い女性の人骨が発見され、新聞紙上ににぎわせたことは、すでにご承知のとおりです。この人骨や発掘された遺物は整理のため、現在大阪市立大学、姫路市立高校に保管されております。

これらのことから、神野町には私たちの祖先が、ずっと昔から生活していたことが確認されます。しかも西条廃寺の遺跡から推して、非常に立派な寺院が建てられ、大変開けた地域であったことが想像されます。

こうした古墳や遺跡は、私たちの祖先が現代の私たちに残してくれた、非常に貴重な遺産でこれらの遺産を私たちの子孫に継承することこ

そ、現代の私たちに与えられた使命であろうと思います。

神野地区は、団地造成、土砂の採取等住宅地としての開発が急速に進められておりますが、そのためにこれらの貴重な古墳や遺跡が破壊される危険性が多分にあります。

私たち文化財保護に携さわるものとしては、こうした貴重な文化財の保護と、社会開発の板ばさみになって非常に困っております。

これらの遺跡の保存については、文化財標柱を建立して、土を取ったり、破壊されたりしないよう注意していますが、私たち関係者だけではなく、地元の皆様方に神野地区の古墳や遺跡が貴重なものであることを深く認識していただき、これらの古墳や遺跡が破壊されたり埋没されてしまうことのないよう、文化財保護について万全のご協力をいただきますよう、よろしくご願ひ申し上げます。

* 民俗資料の記録保存 *

文化財シリーズ記録映画撮影

“播州音頭”と

“稲根神社祭礼神事”

加古川市教育委員会では、文化財審議委員会の監修を得て、市内の民俗行事を8ミリカラーにて記録保存していますが、今年は8月13日に神野町福留日岡神社境内で、播州音頭の録音

と、8ミリカラーによる記録撮影を行ないました。秋には10月16日に稲根神社の祭礼神事を記録しました。この稲根神社はシン舞の奉納を神事として実施してきましたが、ここ数年社会情勢の変化によって中止されてきました。今年度神事当番の石守町内会では、町内を挙げてこの神事の復活を図り、加古川市教育委員会ならびに文化財審議委員会では、再び復活されることの困難な、こうした民俗行事を8ミリカラーにより記録保存するよういたしました。

八幡町の文化財

**★ 埋蔵文化財
(古墳・遺跡)★**

八幡町上西条宮山で、縄文晩期(約2,000年～2,300年前)以降の住居跡が発見され、又附近には大塚古墳をはじめ7基の古墳が確認されており、宮山全体が遺跡となっておりますがその他に銅鐸が発見された望塚をはじめ、東沢古墳や彌生時代の大型壺棺(現在神野小学校に依頼して校長室に保管しています。)が発見された大日山遺跡、野村地区にかま跡が確認されています。その他宗佐八幡神社周辺、下村地内の山の中などにも古墳や遺跡があるものと思われます。

八幡地区においても土砂の採取、道路の建設等の土木工事が進められております。これらの工事によって建物やその他文化財に関係がある

と思われるものが発見された時は、すぐに加古川市教育委員会にお知らせ下さるようお願い申し上げます。

<電話 ②0242 3477 文化財係>

★ 古建造物

古民家の調査★

兵庫県では、国の文化財保護委員会の保存行政の線に沿って、江戸時代以前の古建築物のうち、純然たる民家の緊急調査を、昭和41年の春から実施しております。

加古川市文化財審議委員会では、第1次調査として、八幡町下村 本岡篤信氏宅と、宗佐松尾範次氏宅を調査させていただいて県へ報告し、県の第2次調査で本岡篤信氏宅が貴重な古民家建築であると認定され、更に第3次調査をさせていただくことになっております。

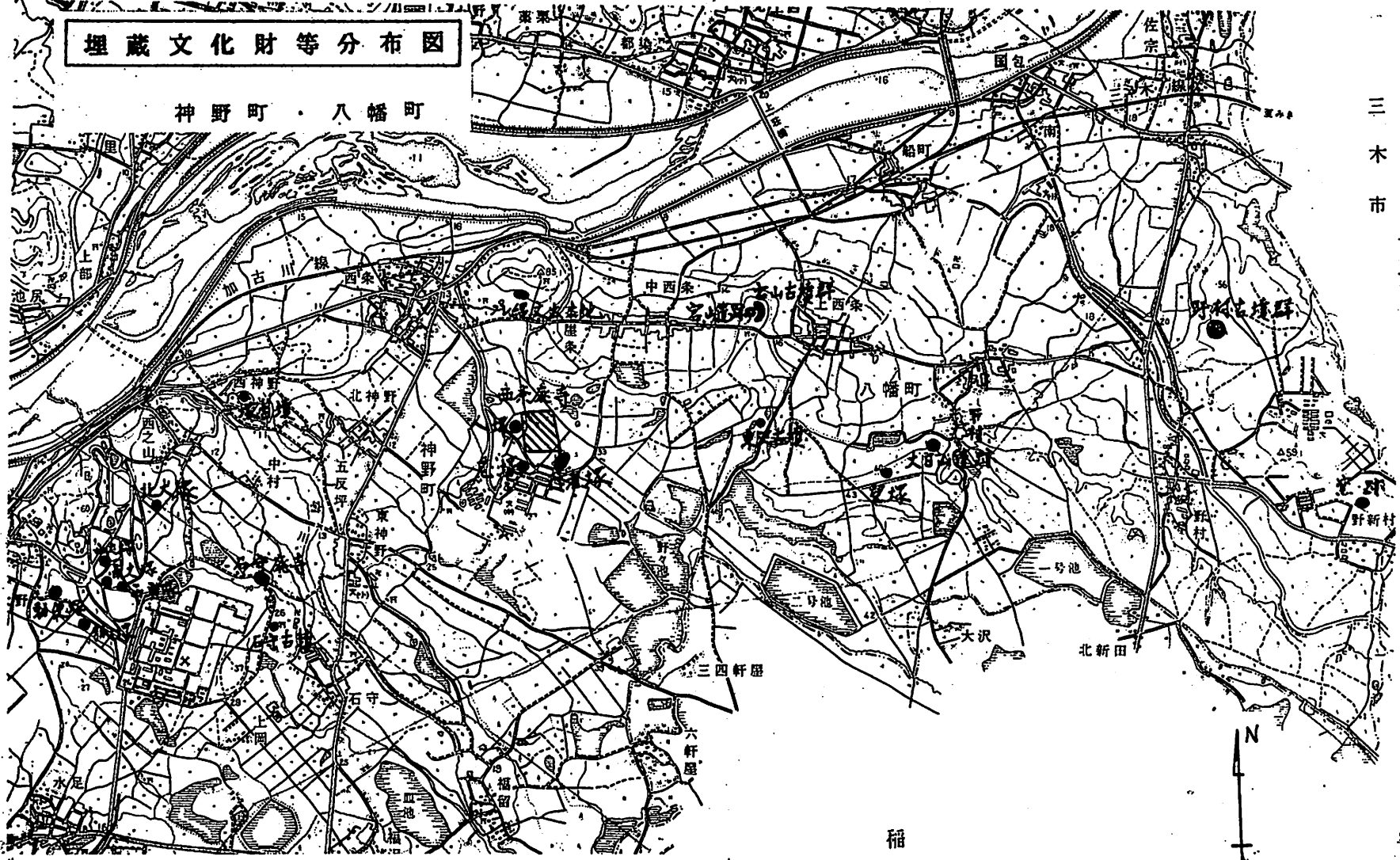
年 代 表

8000	先土器文化
↑	
200	縄文文化
BC	弥生文化
0	
AD	
↓	
200	古墳文化
600	
700	飛鳥
800	奈良
	平安

縄文、弥生時代の年代表を簡単にまとめてみます。

埋蔵文化財等分布図

神野町・八幡町



※ ここにあげた古墳や遺跡は、現在判明している主なもので、この他にもまだ発見されていないものが多数あるはずです。

稲美

三木市